

施策項目 1 - 1 義務教育における確かな学力の育成

【評価結果】

【担当課: 学力向上推進課 (ICT教育推進課)】



担当課 HP

総合評価	進展あり
-------------	-------------

定量評価 [指標]	C	<table border="1"> <tr> <td>指標</td> <td>評点</td> <td>(a)</td> <td>(b)</td> <td>(c)</td> <td>(d)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>評価数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td></td> <td>d 評価となった指標</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">①⑤⑥⑦</td> </tr> </table>	指標	評点	(a)	(b)	(c)	(d)		評価数	0	0	1	8		d 評価となった指標	①⑤⑥⑦			
指標	評点	(a)	(b)	(c)	(d)															
	評価数	0	0	1	8															
	d 評価となった指標	①⑤⑥⑦																		

定性評価 [施策]	進展あり
<p>1人1台端末の活用などによる授業改善の推進により、全国学力・学習状況調査では、児童生徒質問紙・学校質問紙調査の両方において、ICTの授業場面での活用状況における質問項目で、ほぼ毎日活用していると回答している割合が全国平均を上回った。</p> <p>また、全国学力・学習状況調査の結果から、目的や条件に応じて、理由や根拠を示したり、自分の考えを筋道を立てて説明することなどの思考・判断・表現に関することなどに課題が見られたことから、この課題解決に向けて、「学力向上推進事業」を実施し、指導力のある教員による授業改善の取組などにより、全国平均を上回る市町村数が増加傾向にあるなど一定の成果が見られた。</p>	

【施策の推進状況】

【P】・・・「Plan 令和4年度の主な施策」 【D】・・・「Do 主な取組の状況」
 【C】・・・「Check 施策の課題」 【A】・・・「Action 今後の方向」

《課題・背景》	<p>(1)「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度全国学力・学習状況調査では、小学校の全ての教科で全国の平均正答率との差が縮まるとともに、小学校の理科、中学校の国語と理科の3教科で全国の平均正答率とほぼ同水準となるなど改善の傾向が見られるものの各学校の一層の授業改善が必要 <p>(2)学力向上に向けた検証改善サイクルの確立</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学校の検証改善サイクルの確立については、改善が見られるが、成績については地域によって偏りがある。チャレンジテスト等の結果による客観的なデータを活用した検証改善サイクルの確立が求められる。
---------	---

(1)「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善	
【P】	<p>①「授業改善推進チーム活用事業」の推進チームによる授業改善</p> <p>②「組織力強化会議」による組織的な授業改善</p> <p>③小・中学校の連続した教育課程や教育活動の質の向上に関する支援</p> <p>④クラウドを活用した学校間における情報の共有</p>
【D】	<p>①ICTの活用を中心に実践を進めるチームとして67校27チーム(13市11町1村)を配置し、学力向上を図るため授業改善を推進(R3 82校32チーム(14市18町1村))</p> <p>②各学校の校長等を対象とした組織的な授業改善の方策についての協議を14管内で実施(年2回)</p> <p>③「小中一貫教育サポート事業」を実施(6管内8地域24校)</p> <p>④「授業改善推進チーム活用事業」の配置校間において情報の共有や収集ができるようクラウド上に設置した「ネットワークコミュニティ」が、全道研修会において積極的に活用されるよう周知</p>
【A】	<p>①授業改善推進教員による授業改善の取組の成果を、学校、地域全体や管内へ普及</p> <p>②12年間を育成を目指す資質・能力や課題等を踏まえた小・中・高の管理職等における協議による、組織的な授業改善や学力向上等に向けた校内体制の整備、具体的な授業改善の方法などの理解促進</p> <p>③学校種間連携による教育の質の向上に向けた学校間交流の実施</p> <p>④ネットワークコミュニティ活用説明会において活用を促すなど利用の呼び掛けの実施</p>
(2)学力向上に向けた検証改善サイクルの確立	
【P】	<p>①「組織力強化会議」における各学校の検証サイクルの改善充実</p> <p>②CBT版チャレンジテストの活用に向けた取組</p> <p>③「学力向上ロードマップ」に基づく取組の検証と改善策の明確化</p> <p>④全国学力・学習状況調査北海道版結果報告書を活用した学力向上のための取組の促進</p> <p>⑤小学校から高等学校までの12年間を見通した学力向上に係る検証改善サイクルの構築</p>
【D】	<p>①検証改善サイクルの確立に向けたデータ等の活用方法についての協議を14管内で実施(年2回)</p> <p>②実施教科・学年等を拡大して全ての学校で実施可能な環境整備</p> <p>③教育局を対象としたヒアリングにおいて、学力向上の取組についての協議を実施(14管内)</p> <p>④学習習慣の確立に向けた取組事例の普及</p> <p>⑤全国学力・学習状況調査北海道版結果報告書における分析内容の充実</p>
【A】	<p>①小学校から高校までの12年間を見通した検証改善サイクルの確立が課題であることから、高等学校の実践発表を取り入れるなど、より理解が深まるための取組が必要</p> <p>②授業以外で学習する時間が少ないことから、1人1台端末を使用するなど学校や家庭におけるチャレンジテストの活用促進が必要</p> <p>③各教育局における円滑かつ計画的な学力向上の取組を推進するため、全国学力・学習状況調査結果の分析による課題や取組状況、次年度に向けた展望を整理することが必要</p> <p>④自主・自律的な学習習慣の確立を図るため、端末持ち帰りによる学習支援などの取組が必要</p> <p>⑤全国学力・学習状況調査北海道版結果報告書における分析内容の各学校における一層の活用が必要</p>

[指標の状況及び評価]

指標の内容	基準値	目標値（上段）						進捗率	評価	出典 (調査名等)	実施 主体	調査期 日又は 調査対 象期間	指標の 対象
		実績値（下段）											
		(H29)	(H30)	(R元)	(R2)	(R3)	(R4)						
① 「児童(生徒)の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか」と回答した学校の割合(%) 【全国学力・学習状況調査】	小	(H29) 41.8	53.5	65.1	-	88.3	100	46.2%	d	全国学力・学習状況調査	文科省	R4.4.19	公立小・中学校
	中	(H29) 39.7	41.8	48.5	56.2	-	51.1						
② 「授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか」という質問に対して、「当てはまる」と回答した小学校6年生、中学校3年生の割合(%) 【全国学力・学習状況調査】	小	(H29) 52.6	-	-	-	-	100	-	-	全国学力・学習状況調査	文科省	H30年度調査項目削除	公立小・中学校の児童生徒(小6・中3)
	中	(H29) 46.7	52.6	-	-	-	-	-	-				
③ 「授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか」という質問に対して、「当てはまる」と回答した小学校6年生、中学校3年生の割合(%) 【全国学力・学習状況調査】	小	(H29) 36.6	-	-	-	-	100	-	-	全国学力・学習状況調査	文科省	H30年度調査項目削除	公立小・中学校の児童生徒(小6・中3)
	中	(H29) 20.7	36.6	-	-	-	-	-	-				
④ 「学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか」という質問に対して、「当てはまる」と回答した小学校6年生、中学校3年生の割合(%) 【全国学力・学習状況調査】	小	(H29) 27.3	-	-	-	80.0	100	-	-	全国学力・学習状況調査	文科省	R3年度調査項目削除	公立小・中学校の児童生徒(小6・中3)
	中	(H29) 23.1	27.3	-	-	(29.0)	-	-	-				
⑤ 「今回の国語、算数・数学の問題について、どのように解答しましたか(最後まで解答を書こうと努力しましたか)」という質問に対して、「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」と回答した小学校6年生、中学校3年生の割合(%) 【全国学力・学習状況調査】	小国	(H29) 75.2	-	85.1	-	95.0	100	77.6%	d	全国学力・学習状況調査	文科省	R4.4.19	公立小・中学校の児童生徒(小6・中3)
		75.2	75.2	-	79.5	-	81.3						
	小算	(H29) 66.7	73.4	80.0	-	93.3	100	81.5%	c				
		66.7	66.7	68.5	78.4	-	78.0						
	中国	(H29) 69.5	-	81.7	-	93.9	100	75.6%	d				
		69.5	69.5	-	77.8	-	72.3						
中数	(H29) 51.0	60.8	70.6	-	90.2	100.0	48.9%	d					
	51.0	51.0	51.2	55.6	-	54.5			48.9				
⑥ 「学校の授業以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれぐらいの時間、勉強をしますか」という質問に対して、「1時間以上勉強する」と回答した小学校6年生、中学校3年生の割合(%) 【全国学力・学習状況調査】	小	(H29) 57.1	65.7	74.3	-	91.4	100	56.6%	d	全国学力・学習状況調査	文科省	R4.4.19	公立小・中学校の児童生徒(小6・中3)
	中	(H29) 64.2	57.1	57.1	57.6	(57.6)	58.3						
⑦ 小・中学校の国語A・B、算数・数学A・Bの平均正答率の整数値での比較において、全国以上の教科数 【全国学力・学習状況調査】	(H29) 2	8	4	-	4	4	25.0%	d	全国学力・学習状況調査	文科省	R4.4.19	公立小・中学校の児童生徒(小6・中3)	
	2	2	2	0	-	0							1
評価結果	(a) 指標数	(b) 指標数	(c) 指標数	(d) 指標数	定量評価		C						
	0	0	1	8									
新型コロナウイルスの影響により実績値が伸びなかった指標又は低下した指標に対する今後の取組													
d評価に対する今後の取組	①⑤⑥⑦ ・小・中・高を一体的に捉えた児童生徒の学力や学習状況等を踏まえた、エビデンスに基づく学力向上の施策を推進 ・1人1台端末を効果的に活用した授業改善や、自主・自律的な学習習慣・生活習慣の定着を図る効果的な取組方法を全道に普及												